

京都市では、施設の運営状況を分かりやすくお伝えする取組を行っています。

京北文化遺産センターの運営について

当センターは、元京北第二小学校の一部を活用し、文化遺産の保管と活用を郷土学習にも結び付けるとともに、京北地域の文化を地域の内外に発信し京北地域の振興を図ることを目的に令和4年10月に開設しました。昨年度は開館からの半年間で約800人の方々にご来館いただきました。

施設の概要

- 展示学習室
常設展のほか、埋蔵文化財に関する一般図書や全国の発掘調査報告書、子ども向けの図書を閲覧できます。

- 交流ルーム
定期的に企画展を実施しています。

<これまでの開催テーマ>

- ・山国隊軍楽の軌跡 (R4. 10. 2~R5. 6. 26)
- ・彩る金箔瓦 (R5. 7. 15~)



▼現在開催中の企画展は

こちらからご確認ください。



<https://www.city.kyoto.lg.jp/bunshi/page/0000303193.html>

- その他
空き教室を利用し、京北地縁のものをはじめ、京都市内で発掘された出土文化財等を保管しています。

施設運営に関する支出・収入（概数）

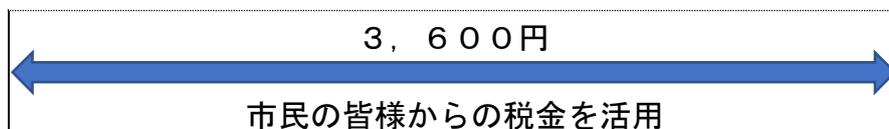
来館者1人あたりに換算すると、上記の取組などによる年間の支出は3,600円（総額約280万円）です。これは、当センターで保管している出土文化財等の管理も含めた費用です。令和4年度は開館期間が半年で入館者数が少なかったことから、来館者1人当たりの支出が多くなっています。

運営に当たっては、施設を利用しない方も含めた、市民の皆様からの税金を活用しています。

<支出：3,600円（総額約280万円）>

人件費 1,470円	事業費 160円	その他（光熱水費等） 1,970円
---------------	-------------	----------------------

<収入：なし>



上記の費用とは別に、当センターの開設に当たり、展示・収蔵環境の整備費用として約2,050万円を支出しています。